

## 【取組内容②】 児童の課題解決に向けた外部専門家によるオンライン授業

## 第4学年 総合的な学習の時間

学習課題「住吉川のために自分たちができることを実践するとともに、1年間の取組を振り返りながら、地域内外に発信しよう」

校区を流れる住吉川の水質検査の結果から、児童は「住吉川の水をきれいにする方法を探りたい。」という追究課題をもった。そこで、「水育」に取り組む民間企業にオンラインによる出前授業を依頼し、写真や映像を通して、汚れた水をきれいにする森の働きやその森を育てる民間企業の活動について知った。



<児童は授業者とリアルタイムでやりとりを進めた>

## 【児童の反応（気付き）】

- ・（民間企業が）未来のために木をへらして森を明るくしたり、いろいろな種類の木を植えたりしていることや森を生まれ変わらせるためには長い年月がかかることが分かった。
  - ・（水を大切にするために）ソースや調味料を使いすぎないようにする。
- ※ 児童は、水を守る取組を知り、自らの生活を振り返ることができた。

## 【オンライン授業のメリット】

- ・ 見学やインタビューができない場所や人（専門家）とつながることができる。
- ・ 児童が追究したい内容に対し、専門家から丁寧に詳しく教えてもらうことで、新たな気付きが生まれ、幅広く深い学びへとつながっていく。